



# The library news

# 夢の図書館



1月号（睦月） （第203号） 2019年1月 18日発行

夢野台高校図書委員会編集B

新しき年の初春の今日ふる雪のいや重け吉事 『万葉集』 大伴家持

明けまして、おめでとうございます。

2019年が始まりました。みなさんは、2019年は、どんな一年にしますか？

私は、図書委員長として、みなさんに一冊でも多く本を読んでもらえるように、頑張り  
たいと思います。2019年もよろしくお願いします。

一段と寒くなってきましたので、ぜひ夢の図書館で心温まる本を読んでください。

(S.H)

## 図書委員のおすすめ本



### 「天久鷹央の事件カルテ」

知念 実希人 著

知念実希人さんといえば、この「天久鷹央シリーズ」。  
主人公、天才女医の天久鷹央と小島遊優との出会い。  
医療ミステリーというと、「難しそう」というイメージがありますが、  
そんな心配を吹き飛ばしてくれる主人公のキャラクター。

『私は論理的思考力に則って行動する』（天久鷹央シリーズより）

（2年 S.H）



### 「三日間の幸福」

三秋 隼 著

主人公のクスノキは小さい時から「自分は特別で並はずれた優秀  
な人間」と思っていた。20歳のある日、お金に困りたった1年につ  
き1万円で寿命を売ってしまう。その日から女性監視員のミヤギ  
との生活が始まる。

残り3か月の寿命の中で、クスノキの心にも変化が……。  
人生を見つめ直すことができる一冊です。



### 「ソロモンの偽証 第三部 法廷」

宮部 みゆき 著

中学校で男子生徒の死体が発見された。警察は自殺と結論づけ捜査を中止。それに対して、男子生徒と同級生であった藤野涼子は自らの手で真相を調査し裁判をひらく。

この物語は映画化もされていて、原作では映画ではなかったシーンも多く二度楽しめる作品になっています。

(M.H)



### 「斜陽」

太宰 治 著

第二次世界大戦後の没落していく、上流階級の話です。貴族にも庶民にもなりきれず、薬に溺れる弟・病で先が長くない母をもつ娘の心情を細かく描いています。男性である太宰治が女性で可愛らしい文章が印象的。また、この小説は太宰治という、人物像を現わしていると思います。読み返すたびに、より深く味わえる作品の一つです。

(S.K)

### 「ミッキーマウスの憂鬱」

松岡 圭祐 著



東京ディズニーランドでアルバイトをすることになった、主人公、後藤大介。ディズニーランドで働くことに大きな希望を持っていたが、任された仕事は裏方の仕事。描いていた仕事が違うこともあり、やりがいを感じれずにいたときに起きたトラブルから、裏方の意義や誇りに目覚めていく。

秘密のベールに包まれた夢の国のバックステージを描いた史上初のディズニーランド青春成長小説です。

(H.O)